

伝統文化の 源流に触れる

2024年7月27日(土)

開場：12:30から 開演：13:00から 終了予定：15:30 会場：国立文楽劇場小ホール

<第1部>

神宮と神事



檀原神宮 宮司

久保田昌孝（くぼた まさたか）

昭和26年1月28日生まれ 東京都出身

昭和50年権禰宜、平成9年禰宜

奉賛課長、祭儀部長、総務部長兼秘書部長を歴任

平成26年3月より宮司代務者

同年9月1日付で第20代檀原神宮宮司

神社本廳評議員・学校法人皇學館評議員・伊勢神宮崇敬会評議員

・奈良県防衛協会顧問・同檀原支部名誉顧問等々

<第2部>

上方舞 演目：地歌「八島」、地歌「鐘が岬」

上方舞は、江戸中期に京阪地域で生まれた日本舞踊で、能、人形浄瑠璃、歌舞伎などの先行芸能から多分に影響を受け、独自のジャンルに形成されてきました。主に座敷や比較的小さな空間で舞われていたことから、至近距離での鑑賞に耐える細やかな動き、シンプルで内面的な表現方法を特徴とします。

演目：地歌「八島」、地歌「鐘が岬」

地歌「八島」は、謡曲「八島」の詞章をもとに源平合戦の修羅場とその後の無常観を描く男舞。地歌「鐘が岬」は、紀州道成寺の安珍清姫伝説を題材に、恋の執心を婉やかに描く女舞。先行芸能から上方舞が得た養分の結晶を、非常に対照的なこの二つの世界でお楽しみいただければと思います。



吉村奈尾（よしむら なお）

平成18年上方舞吉村流に入門。

平成21年名取となる。平成26年師範免状取得。

令和元年より吉村輝尾師に師事。

令和2年文化庁芸術祭新人賞受賞。

令和3年～令和5年各流派合同新春舞踊大会にて大会賞受賞。

日本舞踊協会会員



吉村香尾（よしむら かお）

令和元年より吉村輝尾師に師事。

令和4年、吉村流名取となる。

日本舞踊協会会員

現地案内図



◎会場：国立文楽劇場小ホール（大阪市中央区日本橋1-12-10）

最寄駅：地下鉄堺筋・千日前線「日本橋」駅下車
7番出口より徒歩1分

◎参加無料

事前にハガキ又はメールにて住所/氏名/電話番号をご記入の上、下記までお申込みください。満席の場合のみご連絡申し上げます。

◎主催/連絡先：一般社団法人老人文化会議（大阪市西区江之子島1-7-3）

TEL：080-5340-3812（京都事務局）

E-mail: info@eldernets.or.jp

お送りいただいた個人情報はこのイベント及び、当法人が今後開催するイベントの際のみ使用させていただきます